

【園長の新車と幼児期の学びはリンクするのか!?】

新生活が始まり1か月、どのようにお過ごしですか？まず、お詫びしなければいけないのは新年度当初からノロウイルスをはじめ感染性胃腸炎の感染が多かったです。全国的にも多く発生しています。

感染症の発生状況を手軽に見る方法として、こんなサイトもありました。ご活用を！



(NHK「感染症データと医療・健康情報」)

お休みでお出かけが増える時期、暖かくなってお出かけがしたい時期です。あれもこれも触るし、その手で鼻をほじる、スポンで手をふくなど、そんな年齢ですし都度の手洗いも難しい。あれこれするな！と指示語が多くなっても心の不健康につながります。

保育園も家庭も同様ですが、遊ぶ前に遊んだ手のまま行くとバイ菌が身体に入ること等をお話ししたり、手洗いの仕方を教えたりと根気強く関わっていくことが唯一の方法です。元気に外遊びも楽しんでほしいと願っています。

この連休をはさむと「保育園や学校に行きたくない問題」が全国各地で再度発生します。これも根気強くしかありません。対応方法は先月号のお便り巻頭文に掲載しています。お困りの場合はご参照ください。

行きたくないという時、またはこういう時期を問わず、「今日こんなことされた〜」とお話する子がいると思います。先日、園長の研修会で大学の先生にこんなことを教わりました。幼児期特有の記憶の仕方(幼児性健忘)という言葉です。

幼児期は時系列に記憶し説明することがまだできません。そのため心の真実と事実は違うんですよというお話でした。どうということかといいますが、例えば3人組で遊んでいたAちゃん、席に座ろうとすると、ここはお互いの間隔をあけるために2人しか座れないから、Aちゃんはこっちにと、Aちゃんだけ別に座った。帰ってから、「私だけ意地悪された〜」と泣くAちゃん。ここでわかっていたきたいのは、親はどうしてそんなことをうちの子にしたらと思うのは当然ですが、Aちゃんが一番残った記憶として話したことは、心の真実だけれど事実とは異なる場合があるということです。私たち大人も子どもの時の記憶で嫌なことが多い方は、健忘が原因ということなのです。

そうした発達状況であることへの理解や、個人差があり、例えば4歳児4月生まれと1月生まれでは小学4年生と2年生の違いほどあるとのこと。つまりは、そうしたクラスで全国各地の現場の保育者は頑張っています。

研修で先生は、小学校以降の学校教育では学習する知識や技術を組織した分野(国語・算数・理科・社会など)であるが、「幼児期の教育は教科書のない教育。体験をもとに、意味や概念と出会い学んでいく教育の時期」と説明してくださいました。保育という分野は保護者の皆さんに説明が難しかったりわかりにくいとご指摘を受ける要因もありますが、だからこそ、説明が大事であると感じた研修でした。研修で心に残った幼児期の大事なことをもう一つ、「学びの扉を開けてあげること」です！

話は変わりますが、去年のGWに契約して待つこと約1年。先月ようやく新車(トヨタ ヴォクシー)が納車されました。

納車日、店舗に取りに行ったのですが、お店の方には本当に悪いことをしました。私自身のスケジュール調整が悪く、そのあとの予定もあって、この時間までには出なきゃいけないんです〜と焦らせることがまずダメ。今って契約にスマホも使ったりするんですね、スマホを見ると電池5%。「充電器貸してください」とお願いし、充電しながら顔認証や免許証の写真撮影など進みつつ、電池が少なくてなのかうまくいかない。ようやく完了した時にはもう行かないといけない時間でした。



店員さん「車の機能の説明します」私「すみません、良いです、なんとか乗りながら学ぶので」

店員さん「いやここだけは説明させてください」せっかくなので丁寧な対応をむけにする失礼をし、最低限な説明を聞き、13年くらい乗り続けた愛車ノアを置いていくので、最後に感謝の思いを込め写真を撮らせてくださいと、ノアに近寄りスマホの画面に表示された「電池残量がないので撮影できません」の文字。「ノア、こんな持ち主でごめん。撮影できないけど感謝してる。ありがとう。」の気持ちを掛けるしかありませんでした。店員さんが店長を呼んでくれますので一言。「あ、いいです。後で電話とかするので〜」と去ろうとする私に、そういうわけには…とダッシュする店員さん。店長はじめ複数の店員さんにお見送りをいただき、無事出発いたしました。

そして乗りながら驚くことが満載でした。  
・わき見をすると注意される  
・信号変わったと教えられる  
・車庫入れ時、前後左右ぶつかりそうだと注意激しい  
・運転席からしか見えない速度などが正面に映る  
・前のノアはガソリンが満タンで450キロだったのに、2倍以上走る

・荷物出し入れの後ろのドアの開け方がわからない  
・飲み物置くサイドテーブルのしまい方がわからない  
驚いたこと後半の2つに関しては、なんでしまい方わからないのに、テーブル触ったんだと子どもを叱る始末。店員さんの話をちゃんと聞けばよかったことなのに、大人げなかったと反省しています。

こんなように、大人は時系列に説明ができるわけです。話は本筋に戻ります。研修会では小学校1年生の学びの様子、「給食ってどこから来ると思う？」という先生の声掛けから始まる動画も視聴しました。

「匂いでわかるんじゃない？」という子を先頭に学校を探検して回っていました。

なるほど、ここで感じたのは説明をしすぎない方がいいんだってことです。年長児は2月に小学校体験が各学校で行われますが、そこで説明しすぎずあえて取っておく演出もアリだなと。家庭にも保育園にも応用ができそうです。

そうか、私の車もそうだったのか。説明を聞かなかったということは、学びの扉を開けることにつながったんだと、自分の失礼を正当化しています。

(園長 津村 侑弥)

♪今月のうた♪ 3歳未満児組…こいのぼり・バスにのって など 3歳以上児組…こいのぼり・おかあさん・おつかいあいさん など

保育目標

0歳児 (ひよこ組)	安心する環境の下、睡眠・食事・遊びに心地よさを感じ過ごす	3歳児 (もも組)	春の自然にふれながら、友達や保育士と一緒に好きな遊びを楽しむ
1歳児 (りす組)	保育士が見守る安心感の下、のびのびと好きな遊びを楽しむ	4歳児 (ひまわり組)	自分でやりたい遊びや友達と関わっての遊びをじっくりと楽しむ
2歳児 (うさぎ組)	気持ちを受け止めてもらえる安心感の中で、思いを素直に表現する	5歳児 (さくら組)	集団でのルールや約束事に気づき、園生活に取り入れ過ごす

行事

- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) みどりの日
- 5日(日) こどもの日
- 6日(月) 振替休日
- 9日(木) 詩吟勉強会(さくら組) 11:00~11:30
- 10日(金) 避難訓練 (火災・ベルの音で保育士のところに集まる)
- 15日(月) 交通安全指導 (チャイルドシートの必要性について)
- 18日(土) 保育参加(3歳未満児組)
- 22日(水) 甘茶まつり・誕生会 10:00~10:50  
職員ミーティング 13:00~14:00
- 23日(木) 身体測定(3歳未満児組)  
昔語り 11:00~11:30
- 24日(金) 身体測定(3歳以上児組)
- 31日(金) 教育相談①(横手支援学校)  
年4回実施 ②7/31(水)  
③10/31(木)  
④1/29(水)

【来月の行事】

- 6月15日 親子遠足(美郷町大台野広場)
- 6月中 全児対象面談月間 (後日、面談表をお渡ししますのでご確認ください。)

今年度も県立衛生看護学院の学生が3名ずつ7回に分けて実習を行います。感染症対策を行ってもらい実施します。夢の実現まであと1歩の学生支援へのご理解をよろしくお願いいたします。(5/11・12・13日1回目 5/31日・6/1・2日2回目)

みんなの「げんき」のもと!



りす組(1歳児) 2歳になります!

もも組(3歳児) 4歳になります!

おたんじょうび おめでとう!

ひまわり組(4歳児) 5歳になります!

☆子どもたちのようす☆

4月から入所したお友達のようすです!!園生活に慣れてきてくれてみんな笑顔を見せてくれています!

